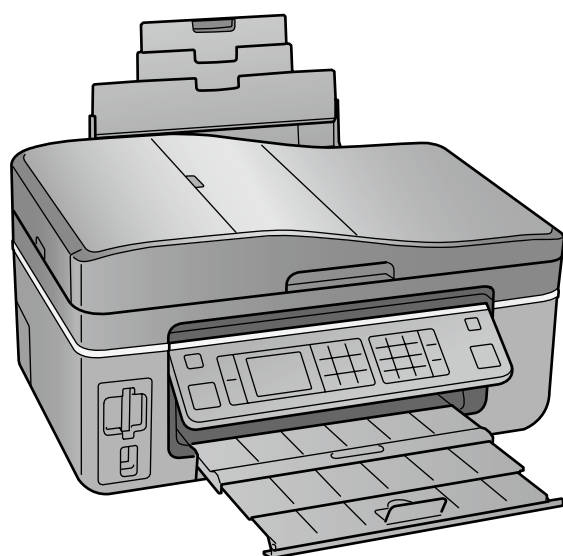
インクジェットプリンタ（複合機）

PX-601F

準備ガイド

～はじめにお読みください～

本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。ご使用の前には必ず『操作ガイド』－「製品使用上のご注意」をお読みください。

―― 本書は製品の近くに置いてご活用ください。――

Windows の標記

- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版

本書中では、上記の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 2000」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の標記

本製品は、Mac OS X v10.3.9 以降に対応しています。
本書中では、上記を「Mac OS X」と表記しています。

商標

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、Bonjour は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
EPSON Scan はセイコーエプソン株式会社の商標です。
EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

知的財産権

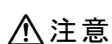
This product incorporates intellectual property owned by Microsoft Corporation and cannot be made, used, sold, offered for sale,imported, or distributed without a license from Microsoft Corporation. Making, using selling, offering for sale, importing or distributing such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft Corporation. We don't grant any such license rights. To obtain license rights from Microsoft, Customer must contact Microsoft at the following web address: IPLG@microsoft.com, and reference ‘WCN License.’

参考訳（本訳文は参考目的に作成したものであり、詳細は上記原文をご確認ください。上記原文と本訳文との間に矛盾がある場合、上記原文の内容が優先します。）
本製品にはマイクロソフトコーポレーションが所有する知的財産権が組み込まれており、マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品を製作、販売、輸入または頒布等を行うことはできません。マイクロソフトコーポレーションの許諾なしに本製品以外に当該技術を利用、輸入または頒布等を行うことは禁止されています。当社はこれらの権利に関して一切利用許諾は行いません。マイクロソフトコーポレーションより当該利用許諾を受けるには、お客様はマイクロソフトコーポレーションの WEB サイト（IPLG@microsoft.com）にアクセスし、"WCN License" を参照してください。

もくじ

本書中のマークについて

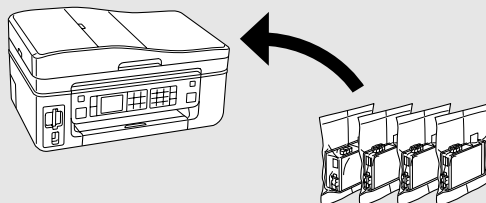
本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
!重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足情報や制限事項、および知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連した内容の参照ページを示しています。

準備の流れ

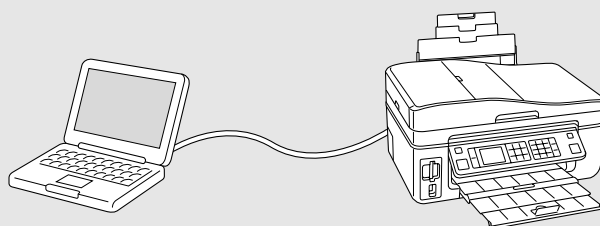
本製品を使用可能な状態にするまでに必要な作業は以下の通りです。

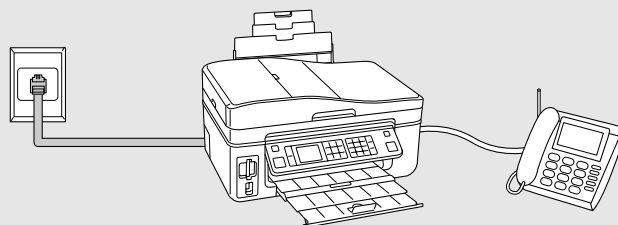
1

本体の準備 ☞3 ページ

インクカートリッジを取り付けます。

2

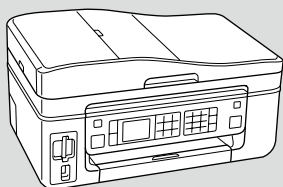
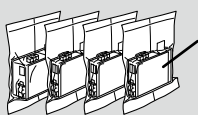
パソコンと接続 ☞9 ページ

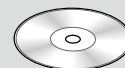
パソコンと、USB またはネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）で接続します。

3

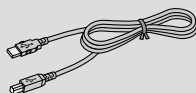
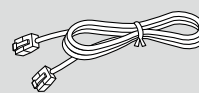
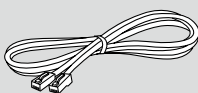
ファクスの準備 ☞29 ページ

本体の準備

この章では、本製品にインクカートリッジを取り付けて、使用可能な状態にするまでを説明しています。

箱の中身を確認

本製品を箱から取り出して、中身を確認します。
万一、不足や損傷しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ 本体
※ ご使用の前に、本体に貼られている保護テープや保護材を取り外してください。

本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。

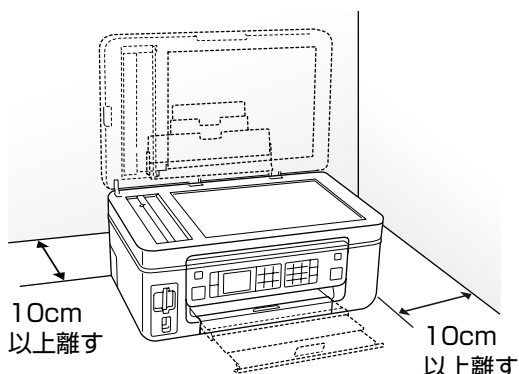
□ インクカートリッジ（4 色）

□ ソフトウェア CD-ROM
※ ソフトウェアと電子マニュアルが収録されています。

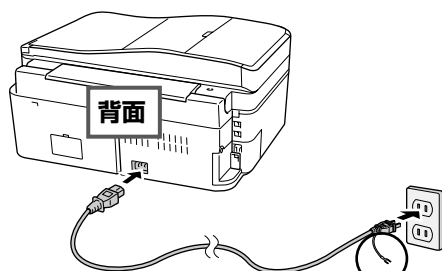
□ 電源コード

□ USB ケーブル
※ 本製品を USB 接続するときに使用します。
無線 LAN・有線 LAN 接続するときは不要です。

□ モジュラケーブル
（6 極 2 芯タイプ）

□ Ethernet（LAN）ケーブル
※ 本製品を有線 LAN で接続するときに使用します。
無線 LAN・USB 接続するときは不要です。

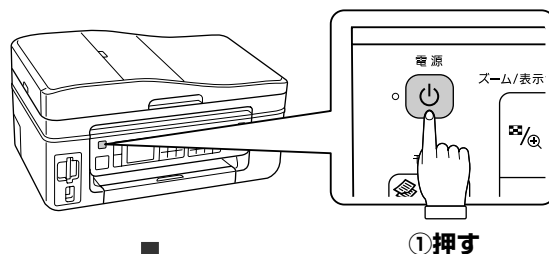
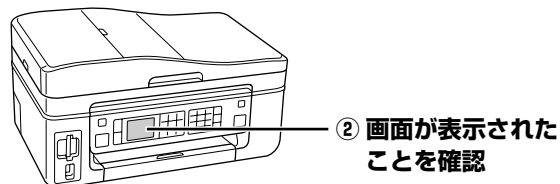
□ 準備ガイド（本書）
□ 操作ガイド
□ 保証書
□ 周波数のご注意が書かれたステッカー
※ 本製品の目に付く場所ににお貼りください。

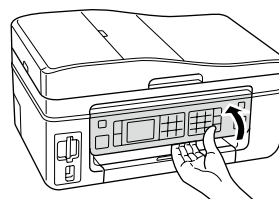
設置・電源の接続

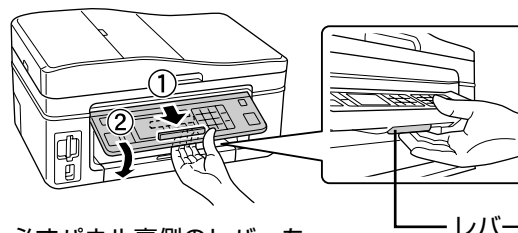
本製品の設置場所を決めて、電源を接続します。

1 設置場所を決めます。

2 電源コードを接続します

> ⚠警 告
> AC100V以外の電源は使用しないでください。

参考

漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

3 電源をオンにします。

4 操作しやすいように、操作パネルの角度を調整します。

<パネルを上げる>

パネル下の開口部に手を入れて引き上げる

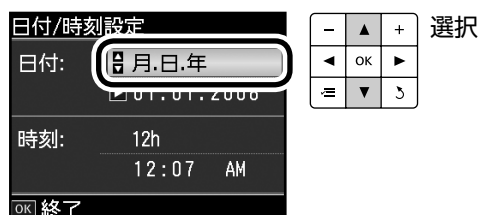
<パネルを下げる>

必ずパネル裏側のレバーを
引きながら下げる

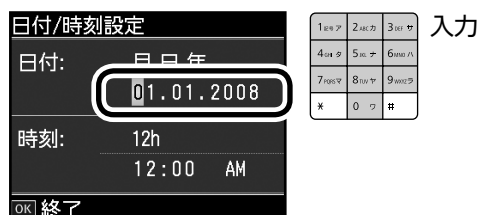
以上で、操作は終了です。

日時の設定

ファクス使用時に必要な日時を設定します。
【◁】か【▷】ボタンで変更する箇所に移動して、表示形式や数字などを選択･入力します。

1 日付の表示形式を選択します。

［月. 日. 年］･［日. 年. 月］･［年. 月. 日］から選択してください。

2 日付を設定します。

日付設定が終わったら、【▷】ボタンを押して時刻設定に移動します。

3 時刻の表示形式を選択します。

［12h］･［24h］から選択してください。
※［12h］は 12 時間表示、［24h］は 24 時間表示です。

4 時刻を設定します。

12 時間表示のときは、［AM］･［PM］も選択します。

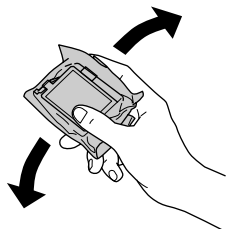
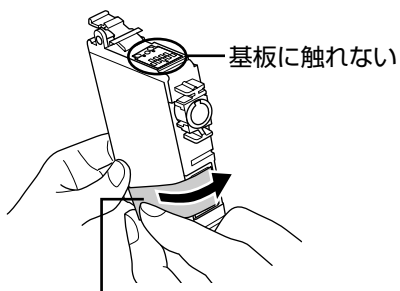
5 すべての設定が終わったら、【OK】ボタンを押します。

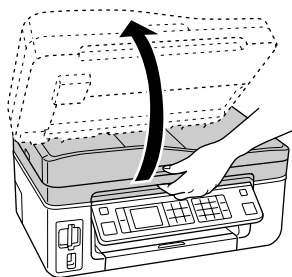
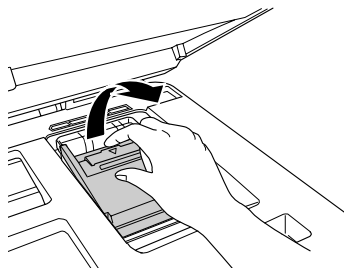
以上で、操作は終了です。

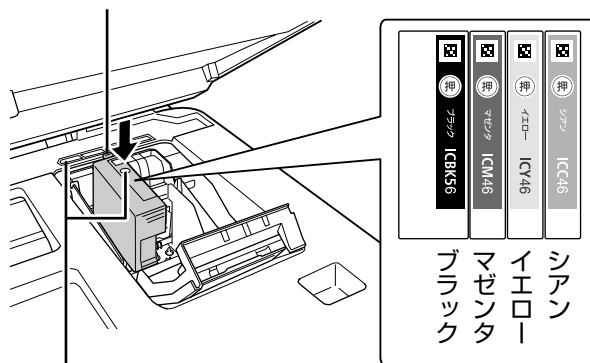
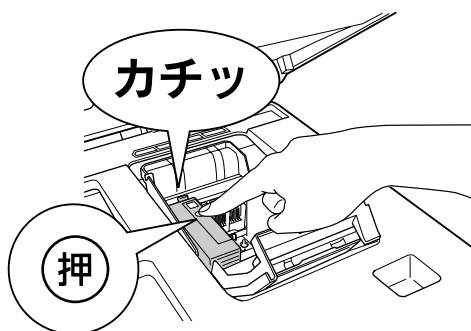
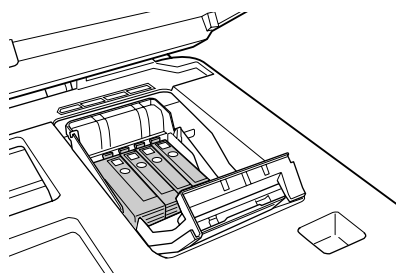
設定した日時は停電などにより、ずれることがあります。そのようなときは以下の手順で、手順 1 の画面を表示して設定し直します。
①【モード】ボタンを押す。
②【◁】か【▷】ボタンで［セットアップ］を選択して【OK】ボタンを押す。
③【◁】か【▷】ボタンで［プリンタの基本設定］を選択して【OK】ボタンを押す。
④【△】か【▽】ボタンで［日付 / 時刻設定］を選択して【OK】ボタンを押す。

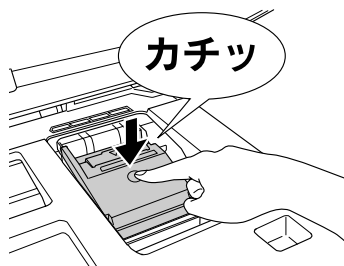
インクカートリッジのセット

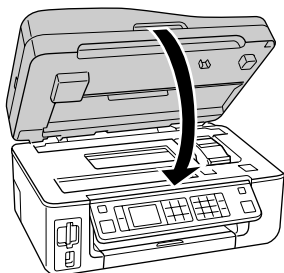
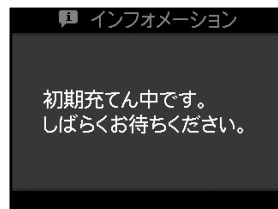
インクカートリッジを取り付けて、インクの初期充てんを行います。

1 インクカートリッジを４～５回振って、袋から取り出します。

2 黄色いフィルムをはがします。

黄色いフィルムのみをはがす
（他のフィルムやラベルははがさない）

3 スキャナユニットを開けます。

4 カートリッジカバーを開けます。

5 ラベルの色を確認して、インクカートリッジを挿入します。

フックを奥に向ける

本体のラベルの色を
確認して挿入

しっかりと押し込む

４本すべてをセットする

6 カートリッジカバーを閉じます。

しっかりと閉じる

7 スキャナユニットを閉じます。

8 【OK】ボタンを押して、インクの初期充てんを開始します。

電源を切らない

約４分

※ 環境によって充てん時間は変わります。

充てん終了

参考

- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は２回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、２回目以降のカートリッジで算出しています。

以上で、操作は終了です。

パソコンと接続して使う準備

この章では、本製品をパソコンと接続して使うための準備について説明しています。

無線 LAN 接続	有線 LAN 接続	USB 接続

1 パソコンと接続 ☞10 ページ
プリンタとパソコンを接続します。
※ 無線・有線のネットワーク接続を同時に利用することはできません。

2 ネットワーク情報の確認 ☞12 ページ
ネットワーク接続に必要な情報（各種アドレスなど）を確認します。

3 ネットワークの基本設定 ☞13 ページ
TCP/IP の設定をします。

4 ネットワーク無線 LAN の設定 ☞16 ページ
無線 LAN の設定をします。

5 ネットワーク設定の確認 ☞23 ページ
ネットワーク接続状態を確認します。

6 ソフトウェアのインストール ☞24 ページ・28 ページ
プリンタドライバやスキャナドライバなど各種ソフトウェアをインストールします。

参考

- 作業の流れは接続方法によって異なります。
  タイトルの横に、お使いの接続方法のマークが記載されている章をご覧ください。

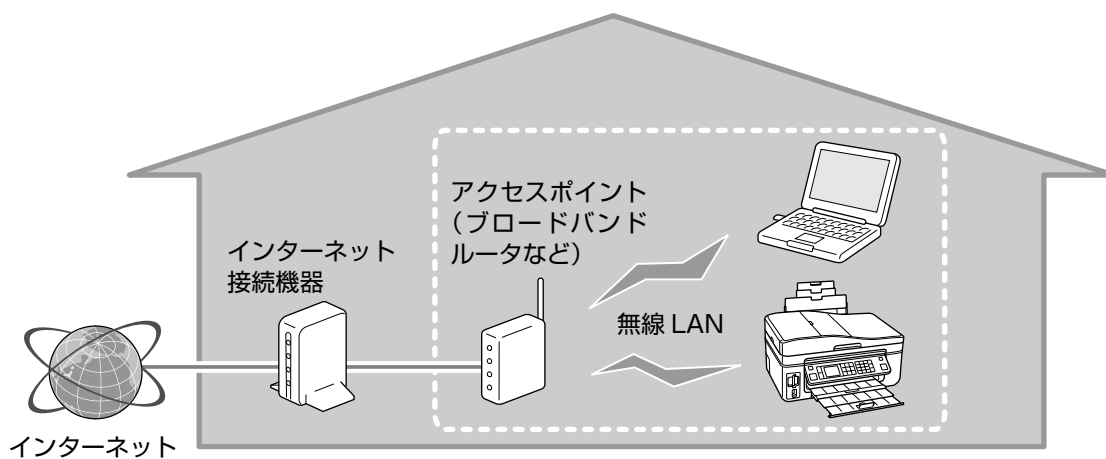
- 本書中で使用されているネットワーク用語を巻末の用語解説で説明しています。
  ☞ 44 ページ「ネットワークの基礎知識」

パソコンと接続

本製品は、パソコンと USB またはネットワーク（無線 LAN・有線 LAN）接続できます。
お使いのパソコンの環境を確認して、接続方法を選択してください。

無線・有線のネットワーク接続を同時に利用することはできません。

無線 LAN 接続

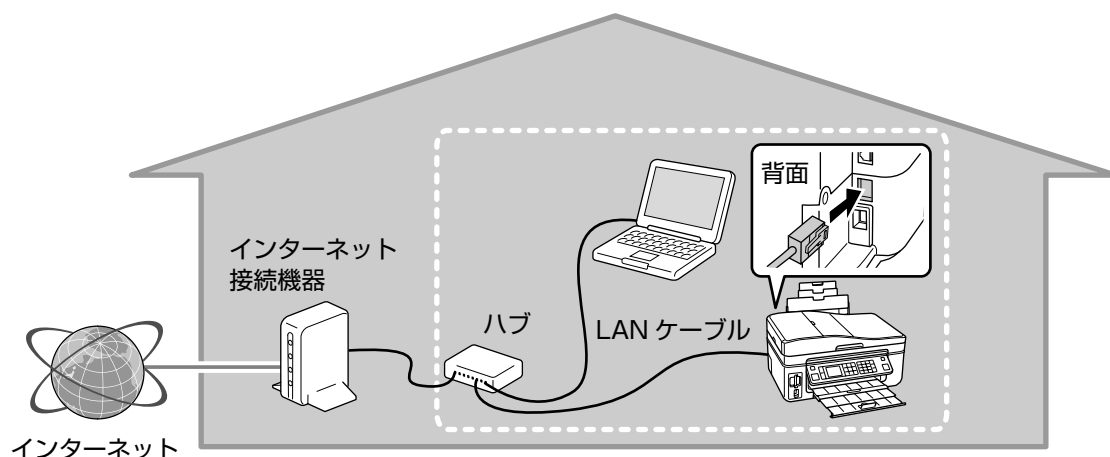
アクセスポイントを経由する無線 LAN（インフラストラクチャモード）環境に接続できます。以下の環境が整っているか確認してください。

機材	説明
アクセスポイント	IEEE802.11b/g に対応した製品が必要です。
パソコン	アクセスポイントに無線 LAN または有線 LAN で接続されている必要があります。

参考

- アクセスポイントを経由せずに無線 LAN デバイス同士で接続するアドホックモードでも使用できます。アドホックモードでの使用方法は、以下をご覧ください。
  ☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」
- Mac OS X で無線 LAN 設定を行うときは、AirMac の設定を［切］にしてください。
  無線 LAN の設定が終わったら、AirMac の設定を［入］にしてください。

無線 LAN の環境を確認したら、ネットワーク設定に必要な情報を確認してください。
☞ 12 ページ「ネットワーク情報の確認」

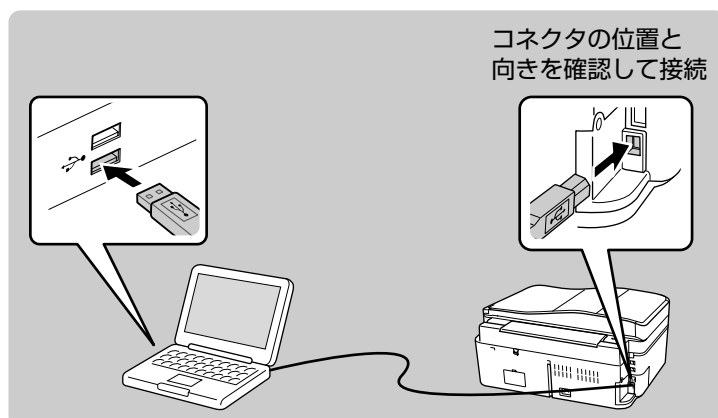
有線 LAN 接続

本製品に付属の LAN ケーブルを使用して、本製品をネットワークに接続してください。

機材	説明
ハブ（HUB）または ブロードバンドルータ	各機器の LAN ケーブルを接続するハブ（HUB）が必要です。 アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にハブ機能が搭載されているときは、アクセスポイントにも接続できます。
パソコン	有線 LAN もしくはブロードバンドルータ機能搭載アクセスポイントの無線 LAN で接続されている必要があります。

接続したら、ネットワーク設定に必要な情報を確認してください。

☞ 12 ページ「ネットワーク情報の確認」

USB 接続

本製品の電源をオフにしてから、付属の USB ケーブルを使用して、本製品とパソコンを接続してください。

接続したら、ソフトウェアをインストールしてください。

☞ 28 ページ「USB 接続時のインストール」

ネットワーク情報の確認

本製品をネットワークに接続するために必要な情報を、確認してメモします。

無線 LAN 環境に接続するときに必要な情報

無線 LAN 環境に接続するときは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧になって、以下の項目を確認してください。なお、AOSS 機能または WPS 機能を使用してセキュリティを自動設定するときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
SSID（ネットワーク名）	
暗号化方式（セキュリティ）	□ WEP-64bit（40bit）/ □ WEP-128bit（104bit） □ WPA-PSK（TKIP）/ □ WPA-PSK（AES） □ WPA2-PSK（TKIP）*1/ □ WPA2-PSK（AES）*1
WEP キー / パスワード	
WEP キー No. *2	□ 1　□ 2　□ 3　□ 4

＊ 1：本製品やアプリケーションソフトの設定画面では、WPA-PSK（TKIP）/WPA-PSK（AES）を選択してください。
＊ 2：「1」以外を選択したときは EpsonNet Config で設定

参考

- アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）の設定によっては、通信できる機器を制限する MAC アドレスフィルタリングを設定しているときがあります。そのときは、操作パネルの［ネットワーク情報確認］で MAC アドレスを確認し、アクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
  ☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」
- ネットワークに Apple AirMac ベースステーションが設定され、WEP HEX や WEP ASCII 以外のパスワードを使用してネットワークにアクセスするときには、該当する WEP キーを入力する必要があります。詳しくは、Apple AirMac ベースステーションの取扱説明書をご覧ください。
- AirMac ベースステーションを経由すると、USB 接続して使用することはできません。

有線 LAN・無線 LAN 接続で IP アドレスを手動設定するときに必要な情報

IP アドレスなどを手動で設定するときは、以下の項目を確認してください。
DHCP 機能を使用して IP アドレスを自動的に割り当てるときは、以下の項目の確認は不要です。

項目	以下の欄にメモしてください
本製品に割り当てる IP アドレス	______ . ______ . ______ . ______
サブネットマスクアドレス	______ . ______ . ______ . ______
デフォルトゲートウェイアドレス	______ . ______ . ______ . ______

デフォルトゲートウェイは、アクセスポイントの「LAN 側の IP アドレス」を設定してください。

ネットワークの基本設定

ネットワーク接続に必要な、プリンタ名・TCP/IP の設定をします。

1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

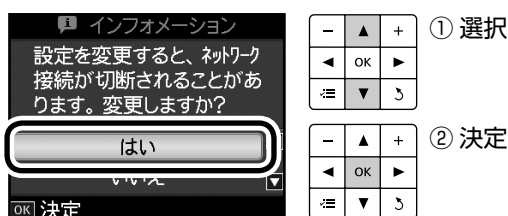
!重要

- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

2［セットアップ］を選択します。

3［ネットワーク設定］を選択します。

4［ネットワーク基本設定］を選択します。

5 画面のメッセージを確認して、［はい］を選択します。

6 プリンタ名を確認します。

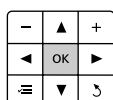
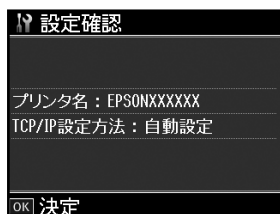
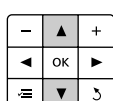
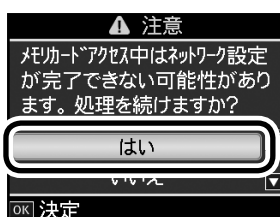
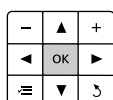
プリンタ名は、ネットワーク上で本製品にアクセスまたは識別する際に必要な情報です。

初期設定は「EPSONXXXXXX」（X は MAC アドレスの下 6 桁）になっています。プリンタ名を変更するときは、文字を入力し直します。
☞ 14 ページ「プリンタ名の変更」

7 TCP/IP を設定します。

ここでは［自動設定］を選択します。
お使いのアクセスポイントやブロードバンドルータに搭載の DHCP サーバによる IP アドレス自動取得機能を有効にしているときは、［自動設定］を選択すると簡単に設定できます。

本製品に固有の IP アドレスを割り当てるときは、［手動設定］を選択して、［IP アドレス］・［サブネットマスク］・［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。
☞ 14 ページ「TCP/IP の手動設定」

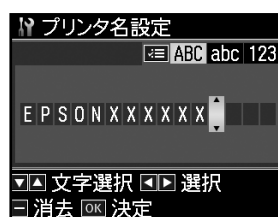
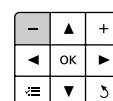
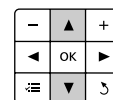
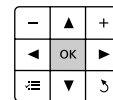
8 **設定内容を確認します。**

以上で、操作は終了です。

お使いの環境に合わせて以下のページへお進みください。

- **無線 LAN 接続の場合**
  ☞16 ページ「ネットワーク無線 LAN の設定」
- **有線 LAN 接続の場合**
  ☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」

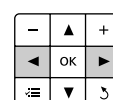
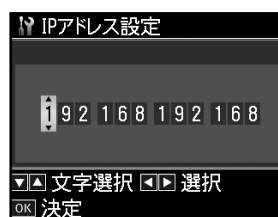
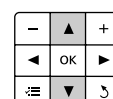
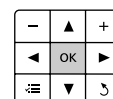
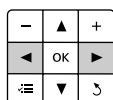
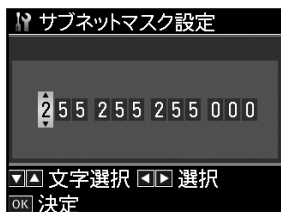
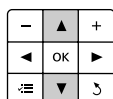
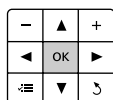
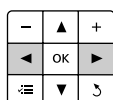
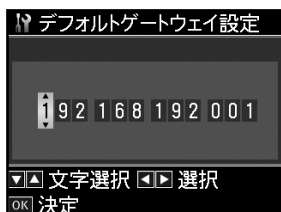
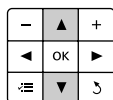
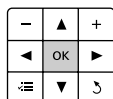
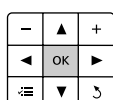
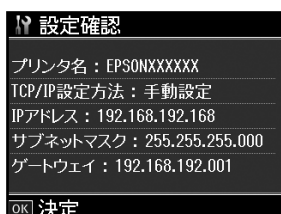
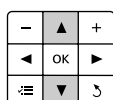
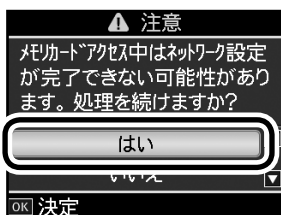
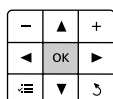
ネットワーク情報の手動設定

プリンタ名の変更

プリンタ名を変更するときは、13 ページの手順 6 で文字を入力し直します。

※ 文字種（大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。

TCP/IP の手動設定

TCP/IP を手動で設定するときは、13 ページの手順 7 で［手動設定］を選択して、［IP アドレス］・［サブネットマスク］・［デフォルトゲートウェイ］のアドレスを入力します。

< IP アドレス >

<サブネットマスク>

<デフォルトゲートウェイ>

※［いいえ］を選択すると、設定が無効になります。

ネットワーク
無線 LAN の設定

無線 LAN のセキュリティを設定して、アクセスポイントに接続します。
本製品は、以下の方法で無線 LAN の設定ができます。

■ AOSS 機能で無線 LAN を自動設定

お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときは、セキュリティを自動で設定できます。
☞ 本ページ「AOSS 無線 LAN 自動設定」

■ WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能で無線 LAN を自動設定

お持ちのアクセスポイントが WPS（Wi-Fi Protected Setup）規格に対応しているときは、セキュリティを自動で設定できます。
☞ 18 ページ「WPS 無線 LAN 自動設定」

■ 無線 LAN を手動で設定

12 ページでメモをとった無線 LAN のセキュリティを手動で設定します。
☞ 20 ページ「無線 LAN 手動設定」

！重要

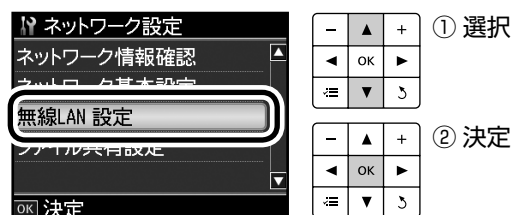
- 無線 LAN を使用するときは、WEP または WPA などのセキュリティを設定してください。セキュリティで保護されていないネットワークでは、不特定の第三者の無線傍受などにより、お客様のデータが漏洩するおそれがあります。
- 操作パネルの設定中に電源をオフにしたりコンセントを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- 無線 LAN 設定を［有効］にすると、有線 LAN では使用できません。

参考

本製品は WCN（Windows Connect Now）機能でも設定できます。詳しくは、以下をご覧ください。
☞『パソコンでの印刷･スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」

AOSS 無線 LAN 自動設定

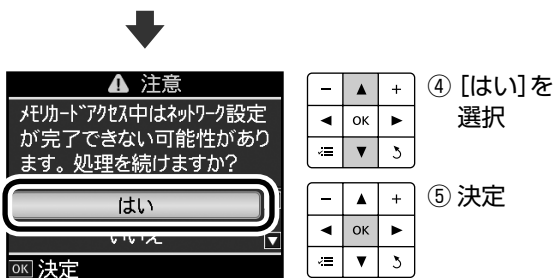
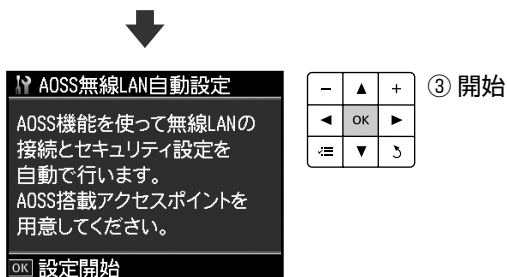
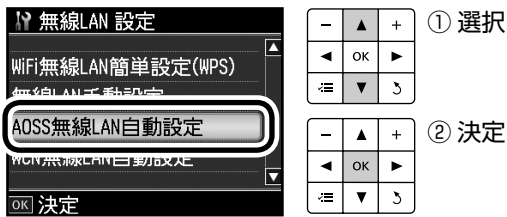
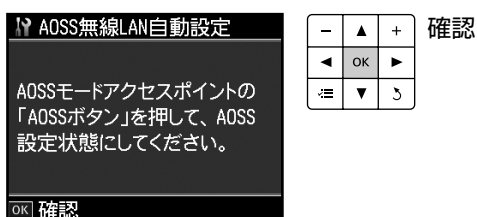
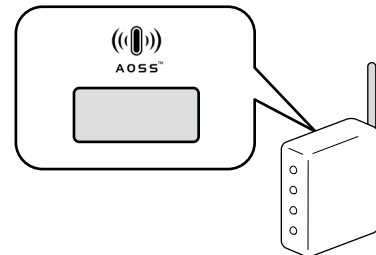
お手持ちのアクセスポイントが株式会社バッファロー製品で AOSS 機能に対応しているときに、セキュリティを自動設定できます。

1 アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

2 ［無線 LAN 設定］を選択します。

上の画面になっていないときは、【モード】ボタンを押してモードの選択画面を表示し、［セットアップ］－［ネットワーク設定］の順に選択します。

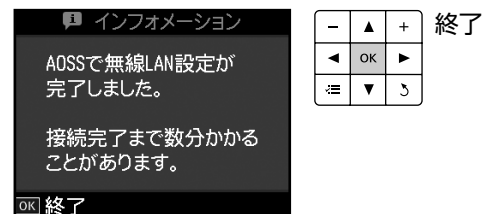
3 画面のメッセージを確認して、［はい］を選択します。

4 ［有効］を選択します。

5 ［AOSS 無線 LAN 自動設定］を選択します。

6 アクセスポイントとのセキュリティ設定を実行します。

7 アクセスポイントの［AOSS］ボタン（またはそれに相当するボタン）を AOSS ランプが点滅するまで押します。

参考

お使いのアクセスポイント（ルータ）によっては、AOSS 専用のボタンが用意されていないことがあります。
［AOSS］ボタンについては、アクセスポイント（ルータ）の取扱説明書をご覧ください。

8 画面のメッセージを確認します。

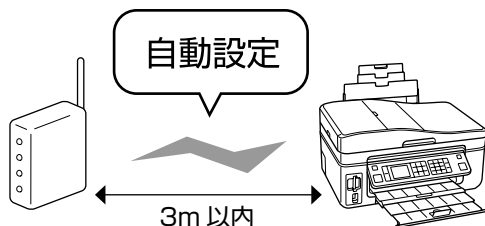
このメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

参考

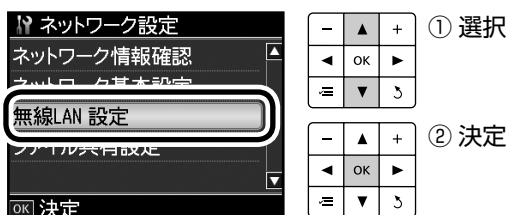
- AOSS 無線 LAN 自動設定は、正常に処理が完了するまでに時間がかかることがあります。設定完了のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
- 接続できなかったときはアクセスポイントとプリンタを近づけて、手順 2 からやり直してください。
- アクセスポイントの AOSS 機能の説明や困ったときの対処方法は、アクセスポイントの取扱説明書または株式会社バッファローのホームページをご覧ください。

以上で、操作は終了です。

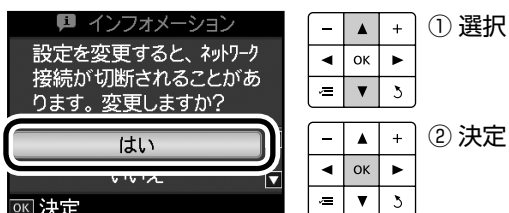
次にネットワークに接続できているか確認します。
☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」

WPS 無線 LAN 自動設定

お手持ちのアクセスポイントが WPS 機能に対応しているときに、セキュリティを自動設定できます。

①無線 LAN の有効化

1 アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

2 ［無線 LAN 設定］を選択します。

> **参考**
>
> 上の画面になっていないときは、【モード】ボタンを押してモードの選択画面を表示し、［セットアップ］－［ネットワーク設定］の順に選択します。

3 画面のメッセージを確認して、［はい］を選択します。

4 ［有効］を選択します。

② WPS による無線 LAN の自動設定

プッシュボタン方式と PIN コード方式によって設定手順が異なります。

> **参考**
>
> - WPS 無線 LAN 自動設定は、正常に処理が完了するまでに時間がかかることがあります。設定完了のメッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。
> - アクセスポイントの WPS 機能の説明や困ったときの対処方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

プッシュボタン方式の場合

1 ［WiFi 無線 LAN 簡単設定（WPS)］を選択します。

2 ［プッシュボタンモード］を選択します。

WiFi無線LAN簡単設定(WPS)

WPS機能を使って無線LANの接続とセキュリティ設定を自動で行います。WPS搭載アクセスポイントを用意してください。

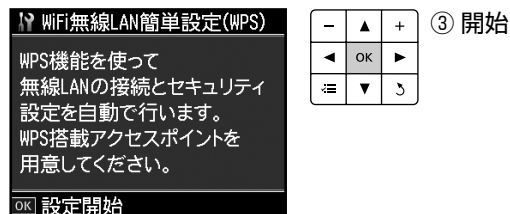
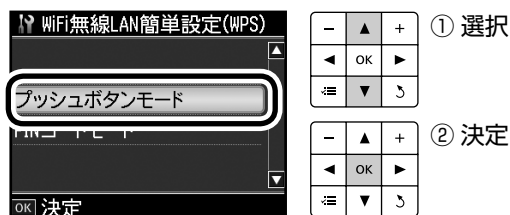
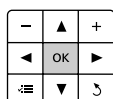
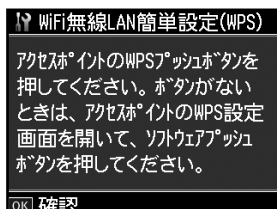
OK 設定開始

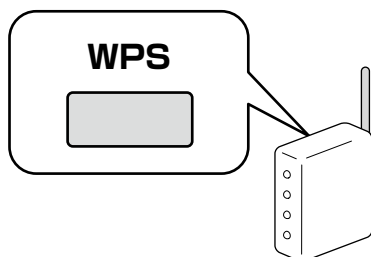
④ ［はい］を選択

⑤ 決定

3 アクセスポイントとのセキュリティ設定を実行します。

アクセスポイントのWPSプッシュボタンを押してください。ボタンがないときは、アクセスポイントのWPS設定画面を開いて、ソフトウェアプッシュボタンを押してください。

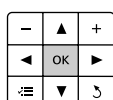
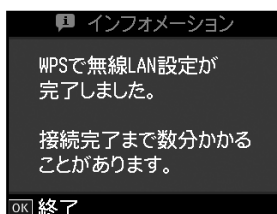
OK 確認

確認

4 アクセスポイントの［WPS］ボタン（またはそれに相当するボタン）を押して、WPS 設定状態にします。

参考

［WPS］ボタンについては、アクセスポイント（ルータ）の取扱説明書でご確認ください。

5 画面のメッセージを確認します。

このメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

終了

以上で、操作は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。
☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」

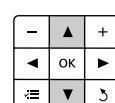
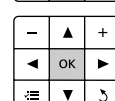
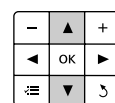
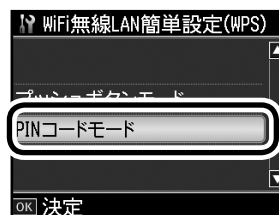
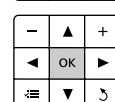
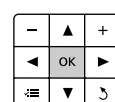
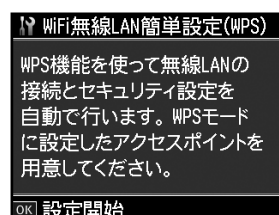
PIN コード方式の場合

PIN コードを登録する方法は、ご利用のアクセスポイント（ルータ）によって異なります。アクセスポイント（ルータ）の取扱説明書でご確認ください。

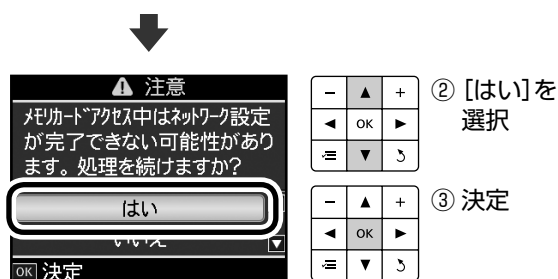
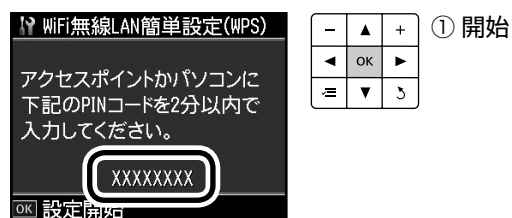
1 ［WiFi 無線 LAN 簡単設定（WPS)］を選択します。

2 ［PIN コードモード］を選択します。

WPS機能を使って無線LANの接続とセキュリティ設定を自動で行います。WPSモードに設定したアクセスポイントを用意してください。

OK 設定開始

③ 開始

3 表示された PIN コードをアクセスポイントに登録します。

【OK】ボタンを押してから 2 分以内に登録してください。

4 画面のメッセージを確認します。

このメッセージは、しばらくすると自動的に消えます。

終了

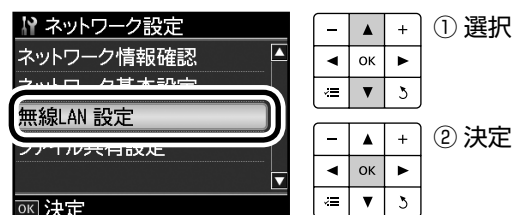
以上で、操作は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。

☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」

無線 LAN 手動設定

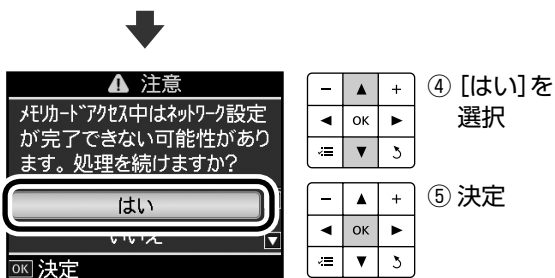
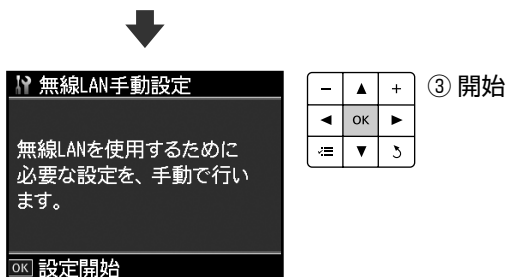
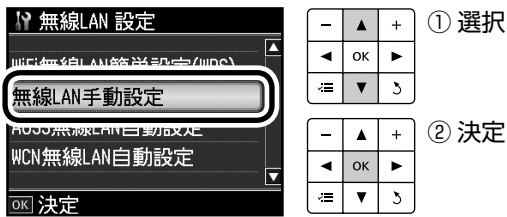
12 ページでメモした無線 LAN のセキュリティ情報を手動で設定します。

1 アクセスポイントの電源がオンになっていて、通信可能な状態になっていることを確認します。

2 [無線 LAN 設定] を選択します。

上の画面になっていないときは、【モード】ボタンを押してモードの選択画面を表示し、[セットアップ] − [ネットワーク設定] の順に選択します。

3 画面のメッセージを確認して、[はい] を選択します。

4 [有効] を選択します。

5 ［無線 LAN 手動設定］を選択します。

6 通信モードを選択します。

ここでは、［インフラストラクチャモード］を選択します。

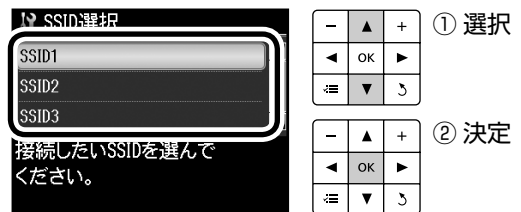
参考

本製品をアドホックモードで使用するときは、以下をご覧ください。
『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」

7 SSID の入力方法を選択します。

ここでは、［SSID を検索］を選択します。

SSID を手動で入力するときは、［SSID をテキスト入力］を選択して、SSID を入力してください。

8 接続するSSID(ネットワーク名)を選択します。

参考

- SSID が何も表示されないときは、アクセスポイントが通信可能な状態か確認してください。
- アクセスポイントがステルス機能などを使用して SSID を表示しないように設定しているときは、【戻る】ボタンを押して 1 つ前の手順に戻り、［SSID をテキスト入力］を選択して、SSID を入力してください。

つづく

9 セキュリティ方式を選択します。

[なし]を選択したときは、手順11へお進みください。

※ WPA2-PSK（TKIP）のときは［WPA-PSK（TKIP)］を、WPA2-PSK（AES）のときは［WPA-PSK（AES)］を選択してください。

10 WEP キーまたは WPA パスワードを入力します。

[WEP-64bit（40bit)］または［WEP-128bit（104bit)］を選択した場合

① WEP キーの入力方法を選択します。

ASCII 文字	WEP キーが 5 または 13 文字の場合に選択します。
16 進数	WEP キーが 10 または 26 桁の場合に選択します。

② WEP キーを入力します。すべての桁を入力したら【OK】ボタンを押します。

※ 文字種（大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。文字を消去するときは【–】ボタンを押します。

[WPA-PSK（TKIP)］または［WPA-PSK（AES)］を選択した場合

WPA パスワードを入力します。入力したら【OK】ボタンを押します。

※ 文字種（大文字・小文字・数字）を変更するときは【メニュー】ボタンを押します。文字を消去するときは【–】ボタンを押します。

11 設定内容を確認します。

以上で、操作は終了です。

次にネットワークに接続できているか確認します。

☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」

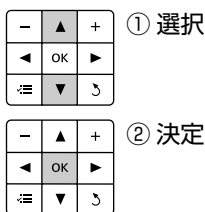
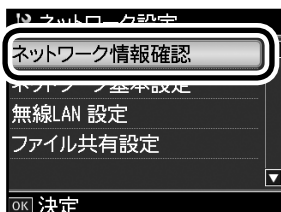
ネットワーク設定の確認

設定が終了したら、ネットワークの設定と接続状態を確認します。また、ステータスシートを印刷すると、詳細な情報を確認できます。

1 ［ネットワーク情報確認］を選択します。

① 選択

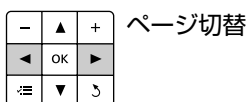
② 決定

参考

上の画面になっていないときは、【モード】ボタンを押してモードの選択画面を表示し、［セットアップ］－［ネットワーク設定］の順に選択します。

2 接続の状態を確認します。

【▷】ボタンを押すと、次の画面に切り替えられます。

ネットワーク情報確認
プリンタ名：EPSONXXXXXX
接続状態：無線LAN-0Mbps
電波状態：非常に良い
TCP/IP設定方法：自動設定
IPアドレス：192.168.192.168
OK 確認 ◁▷ ページ切替
◇ ステータスシート印刷

ページ切替

※ 設定した内容が表示されないときは、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、しばらく待ってから確認してください。

3 ステータスシートを印刷するときは、A4 サイズの普通紙をセットして、【スタート】ボタンを押して印刷を開始します。

☞『操作ガイド』21 ページ「印刷用紙のセット」

4 確認が終了したら、【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

次にパソコンにソフトウェアをインストールします。
☞24 ページ「ソフトウェアのインストール」

［ネットワーク情報確認］画面

設定や環境によって、表示が異なります。

項目	設定値
プリンタ名	XXXXXXXXXXXXXXX
接続状態	10BASE-T Half Duplex・10BASE-T Full Duplex・100BASE-TX Half Duplex・100BASE-TX Full Duplex・無線 LAN XXMbps・無線 LAN 検索中・非接続・無線 LAN 非接続
電波状態	非常に良い・良い・弱い・悪い・不定
TCP/IP 設定方法	自動設定・手動設定
IP アドレス	XXX.XXX.XXX.XXX
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.XXX
ゲートウェイ	XXX.XXX.XXX.XXX
無線 LAN 設定方法	AOSS・手動設定・WPS
通信モード	インフラストラクチャ・アドホック
SSID	XXXXX
チャネル	1 ～ 13
セキュリティ設定	なし・WEP-64bit（40bit）・WEP-128bit（104bit）WPA-PSK（TKIP）・WPA-PSK（AES）
暗号化キー	＊＊＊＊＊・未設定
事前共有キー	＊＊＊＊＊
ファイル共有設定	無効・有効
ファイル共有モード	読み込み専用・読み書き可能
MAC アドレス	XX：XX：XX：XX：XX：XX

ステータスシート

```
HHHH EPSON Status Sheet HHHH

<General Information>
MAC Address                  XX:XX:XX:XX:XX:XX
Software                     XX.XXXXXX
Printer Model                PX-601F
Printer Name                 EPSONXXXXXX

<Ethernet>
Network Status               NONE
Port Type                    NONE

<Wireless>
Wireless Mode                ON
Communication Mode           Infrastructure
Operation Mode               IEEE 802.11b/g
Transmission Rate            Auto(54Mbps)
SSID                         XXX
Channel                      11
Security Level               WEP-128bit(104bit)
AP Authentication Method     Auto(Open System)
Link Status                  Connect
Access Point(MAC Address)    XX:XX:XX:XX:XX:XX
Signal Condition             Excellent
SSID List                    E:XXX/11/Security(ON)
                             E:XXXXXXXXXXXX/11/
```

※ 設定の内容によっては、複数枚印刷されることがあります。

ソフトウェアのインストール

インストールの手順はパソコンとの接続方法によって異なります。
USB 接続のときは 28 ページをご覧になり、ソフトウェアをインストールしてください。
インストールするソフトウェアやインストール条件については、以下のページをご覧ください。
☞38 ページ「付属のソフトウェアとインストール条件」

ネットワーク接続時のインストール

ソフトウェアのインストール

1 本製品の電源がオンになっていることを確認します。

2 パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。

参考

- 下の画面が表示されたときは、[ブロックを解除する] をクリックしてください。[ブロックする] または [後で確認する] はクリックしないでください。

- 市販のセキュリティソフトが表示した画面で [ブロックする] や [遮断する] はクリックしないでください。
- 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

3 Mac OS X の場合は、[Install Navi] アイコンをダブルクリックします。

4 下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

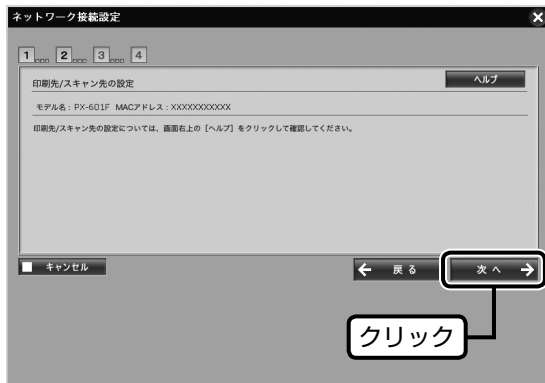
参考

- 上の画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]（または [コンピュータ]）の中の CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[EPSETUP] のアイコンをダブルクリックします。
- Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら、[EPSETUP.EXE の実行] をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では [許可] または [続行] をクリックします。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

手順 5 の画面が表示されるまで、画面の指示の通りに進めます。

5 下の画面が表示されたら、[ネットワーク接続] をクリックして、[次へ] をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってネットワークの接続設定を進めてください。

6 Mac OS X の場合は、下の画面が表示されるので[次へ]をクリックして手順 12 へ進みます。

7 必要に応じてプリンタ名を変更して、[次へ]をクリックします。

プリンタ名を変更するときは、英数半角 32 文字以内で入力してください。

8 [次へ] を選択できるようになったらクリックします。

9 テストページを印刷するために、A4 サイズの普通紙をセットします。

『操作ガイド』21 ページ「印刷用紙のセット」

10 [はい] をクリックして、[次へ] をクリックします。

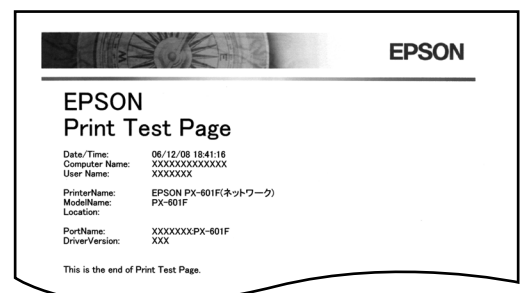
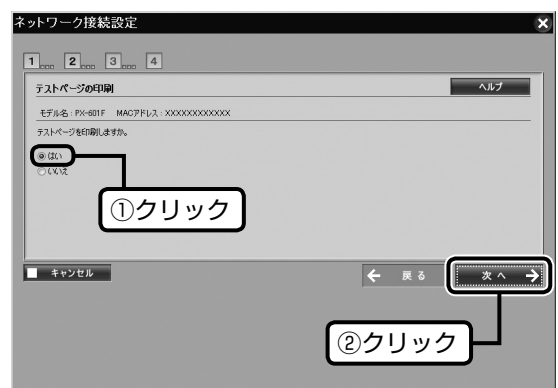
EPSON

EPSON
Print Test Page

Date/Time: 06/12/08 18:41:16
Computer Name: XXXXXXXXXXXXX
User Name: XXXXXXX

PrinterName: EPSON PX-601F(ネットワーク)
ModelName: PX-601F
Location:

PortName: XXXXXXX:PX-601F
DriverVersion: XXX

This is the end of Print Test Page.

上のようなテストページが印刷されれば、パソコンと本製品は正常に接続されています。

11 [次へ] をクリックします。

12 **メモリカードへのアクセス属性を選択して、［次へ］をクリックします。**

パソコンからメモリカードにデータを保存するときは、［読み書き可能］を選択します。
この後は、画面の指示に従って設定を進めてください。

参考
この設定を行ったときは、USB 接続でメモリカードにアクセスできません。

■ Windows

以上で、準備完了です。
実際に印刷・スキャンしてみましょう。

- 印刷・スキャン方法は…

☞『操作ガイド』72 ページ「パソコンから印刷・スキャン」

- もしも印刷できなかったら…

☞34 ページ「ネットワーク設定時のトラブル」
☞『操作ガイド』100 ページ「パソコンから印刷・スキャンできない」

■ Mac OS X

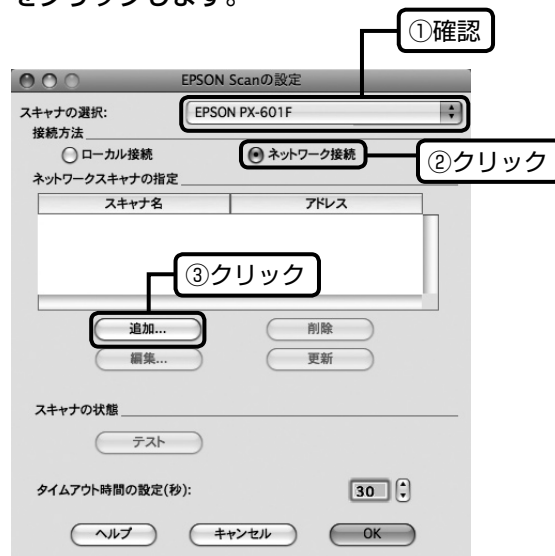
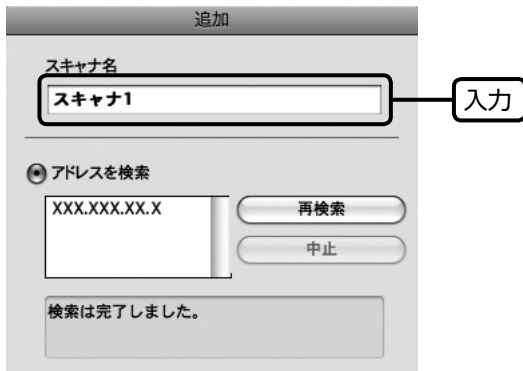
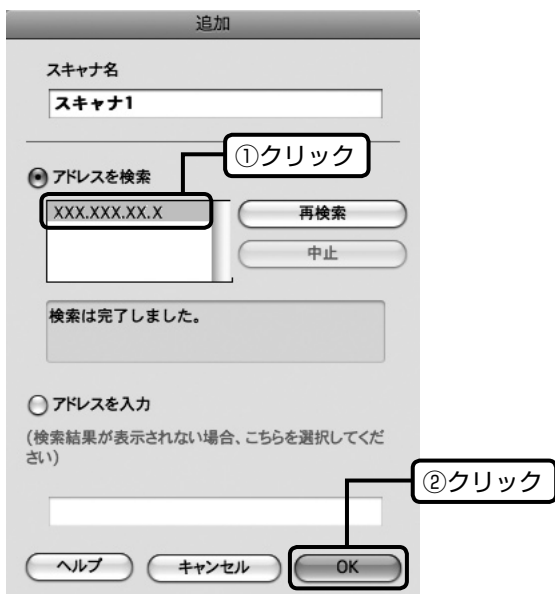
表示される画面の内容を確認し、プリンタリストに本製品を追加してください。
プリンタを追加したらスキャナの接続と確認を行ってください。

☞本ページ「スキャナの接続と確認（Mac OS X のみ）」

スキャナの接続と確認（Mac OS X のみ）

EPSON Scan の接続先を設定して、動作を確認します。

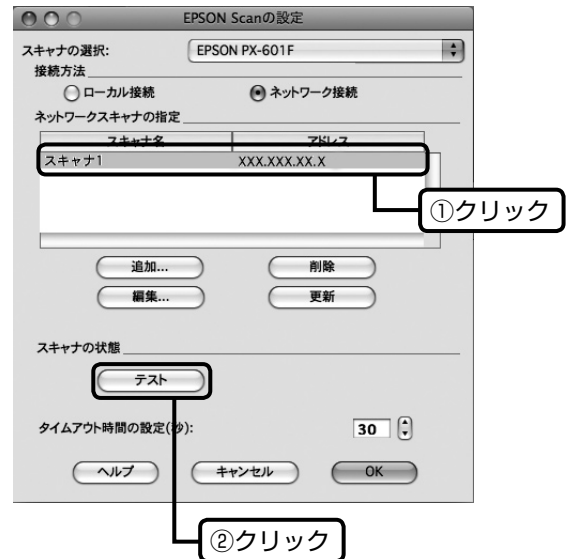
1 **［Macintosh HD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］－［EPSONScan の設定］をダブルクリックします。**

2 **本製品が選択されているのを確認してから、［ネットワーク接続］をクリックして、［追加］をクリックします。**

3 ［スキャナ名］を入力して、検索が終了するのを待ちます。

4 本製品の IP アドレスをクリックして、［OK］をクリックします。

参考

アドレスが表示されないときは、接続を確認して［再検索］をクリックするか、［アドレスを入力］をクリックして、IP アドレスを直接指定してください。
なお、IP アドレスを直接指定すると、IP アドレスを自動追従する機能が無効になります。

5 接続するスキャナをクリックして、［テスト］をクリックします。

［EPSON Scan の設定］画面を開いた直後は、検索中のため選択できません。検索が終了して選択できるようになるまでお待ちください。

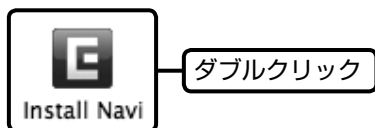
6 ［接続テストは成功しました］と表示されるのを確認して、［OK］をクリックします。

以上で、準備完了です。
実際に印刷・スキャンしてみましょう。

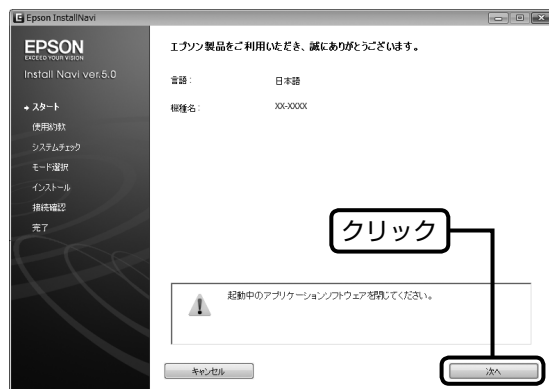
- 印刷・スキャン方法は…
  ☞『操作ガイド』72 ページ
  「パソコンから印刷・スキャン」
- もしも印刷できなかったら…
  ☞34 ページ「ネットワーク設定時のトラブル」
  ☞『操作ガイド』100 ページ
  「パソコンから印刷・スキャンできない」

USB 接続時のインストール

1 **本製品の電源がオフになっていることを確認します。**

2 **パソコンにソフトウェア CD-ROM をセットします。**

3 **Mac OS X の場合は、[Install Navi] アイコンをダブルクリックします。**

4 **下の画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。**

この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

参考

- 上の画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]（または [コンピュータ]）の中の CD-ROM ドライブをダブルクリックし、[EPSETUP] のアイコンをダブルクリックします。
- 新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたときは、本製品の電源をオフにし、[キャンセル] をクリックして画面を閉じてください。
- Windows Vista で「自動再生」画面が表示されたら、[EPSETUP.EXEの実行] をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では [許可] または [続行] をクリックします。なお、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

5 **下の画面が表示されたら、[ローカル（直接）接続] をクリックして、[次へ] をクリックします。**

引き続き、画面の指示に従って作業を進めます。

以上で、準備完了です。
実際に印刷・スキャンしてみましょう。

- 印刷・スキャン方法は…
  『操作ガイド』72 ページ「パソコンから印刷・スキャン」
- もしも印刷できなかったら…
  『操作ガイド』100 ページ「パソコンから印刷・スキャンできない」

プリンタドライバ画面にインク残量が表示されていれば、正常に印刷できます。

プリンタドライバ画面の表示方法は、以下をご覧ください。
『操作ガイド』72 ページ「パソコンから印刷」

ファクスを使う準備

この章では、ファクス機能を使うための準備について説明しています。

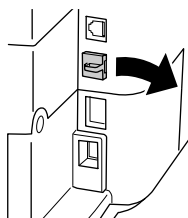
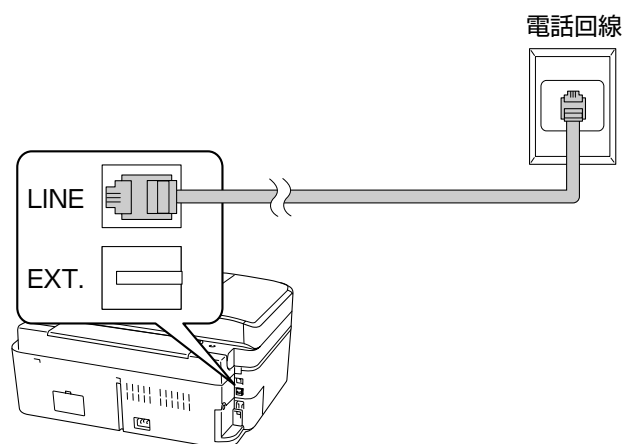
1 **電話回線と接続** ☞30 ページ
プリンタを電話回線に接続します。

2 **回線種別の設定** ☞32 ページ
操作パネルで電話回線の種別を設定します。

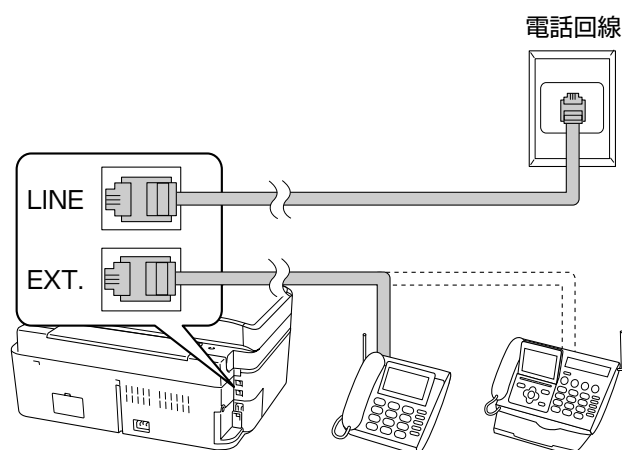
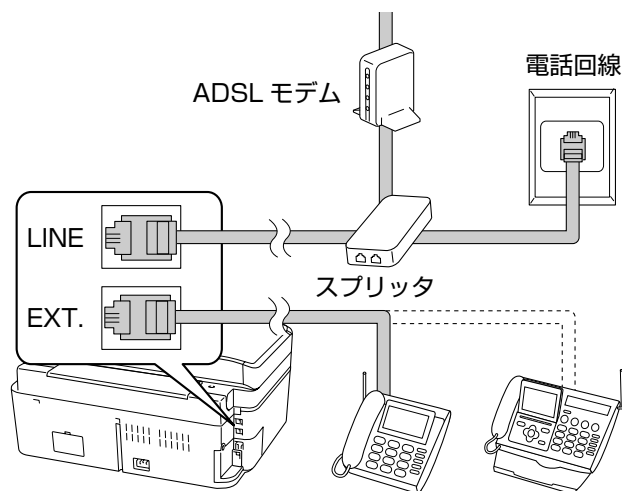
電話回線と接続

ファクスとして使用するには、本製品を電話回線に接続する必要があります。

!重要

- 接続の前に、対応の電話回線をご確認ください。
  『操作ガイド』108ページ「ファクス部基本仕様」－「対応回線」
- 本書で説明している接続方法は代表的な例です。すべての接続方法を保証するものではありません。
- EXT. ポートにはキャップが付いていますので、外付け電話接続時には取り外してください。

一般回線に接続する場合

⚠注意

電話回線をEXT. ポートに接続しないください。EXT. ポートは外付電話機の接続用です。

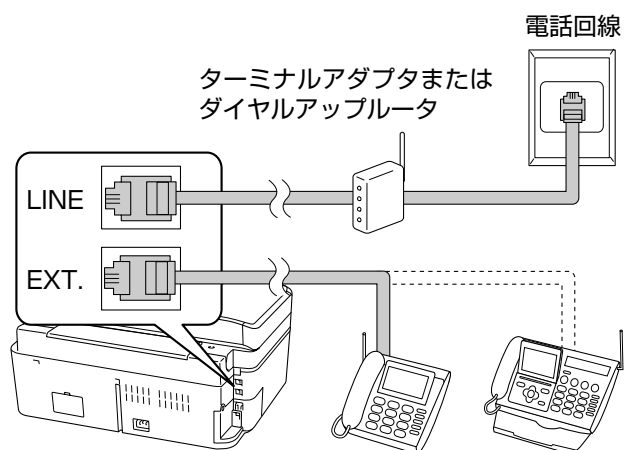
一般回線に接続して外付電話機を接続する場合

ADSL回線に接続する場合

詳しくはADSLモデムの取扱説明書をご覧ください。

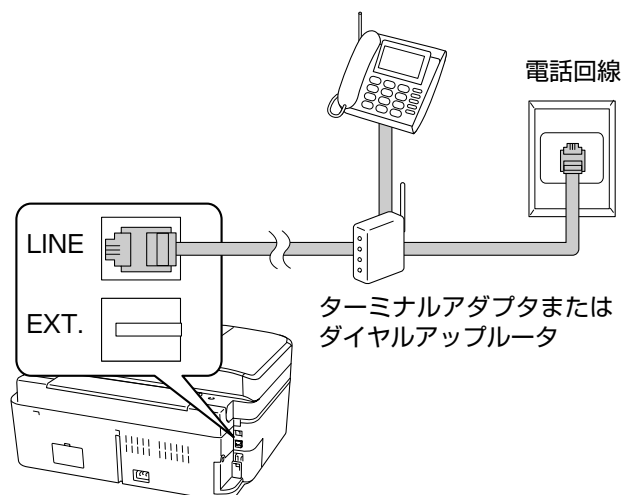
ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 1 つのとき）

電話回線

ターミナルアダプタまたは
ダイヤルアップルータ

LINE

EXT.

詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

ISDN 回線に接続する場合（電話番号が 2 つのとき）

参考

ケーブル接続のほかに、電話番号の振り分けなどの設定が必要になることもあります。
詳しくはターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

詳しくはターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

回線種別の設定

ファクス通信するための回線を設定します。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ファクス設定］を選択します。

3 ［送受信設定］を選択します。

① 選択
② 決定

4 ［回線種別］を選択します。

③ 項目選択
④ 決定

設定	内容
プッシュ	プッシュ回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパッ」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（10PPS）	ダイヤル回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに、「カタカタカタ」または「ジージージー」という音がするタイプの回線）
ダイヤル（20PPS）	

以上で、準備完了です。

ファクスの操作方法については、以下をご覧ください。
『操作ガイド』45 ページ「ファクス」

参考

- 使用している回線種別がわからないときは、［プッシュ］→［ダイヤル（20PPS)］→［ダイヤル（10PPS)］の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してみてください。
- この状態でファクスの送受信ができますが、必要に応じて自局設定や短縮ダイヤルなどの登録をしてください。
『操作ガイド』45 ページ「ファクス」

困ったときは（トラブル対処方法）

この章では、ネットワーク設定時のトラブルの対処方法について説明しています。

ネットワーク設定時のトラブル

症状・トラブル状態	確認・対処方法
アクセスポイントと接続できない・検出されない	● アクセスポイントは接続可能な状態ですか？ お使いのパソコンなど他の機器で無線通信できるか確認してください。 ● アクセスポイントとプリンタの位置が離れ過ぎていませんか？また障害物がありませんか？ プリンタの位置を移動してアクセスポイントと近付けたり、障害物を取り除いてください。 ● アクセスポイントにアクセス制限が設定されていませんか？ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）にアクセス制限を設定しているときは、本製品の MAC アドレスや IP アドレスをアクセスポイントに登録して、通信を許可しておいてください。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。 ● アクセスポイントが SSID（ネットワーク名）を表示させない設定になっていませんか？ アクセスポイント側でステルス機能などを使用して SSID を表示させないように設定しているときは、SSID を操作パネルで入力してください。 ☞20 ページ「無線 LAN 手動設定」 ● WEP キーやパスワードの設定は正しいですか？ 大文字、小文字の違いも許可されません。入力した WEP キーやパスワードが正しいか確認してください。 ● 無線 LAN を内蔵したパソコンで、使用できる無線チャネルが制限されていませんか？ 無線 LAN を内蔵したパソコンでは、使用できる無線チャネルが制限されていることがあります。パソコンまたは無線 LAN カードなどの取扱説明書で、使用できる無線チャネル番号を確認してください。そして、アクセスポイントに設定されている無線チャネル番号が、上記で確認した無線チャネル番号に含まれていることを確認してください。含まれていない場合は、アクセスポイントの無線チャネルを変更してください。
有線 LAN で通信できない	● 操作パネルの［無線 LAN 設定］は［無効］になっていますか？ ［有効］に設定されていると有線 LAN で通信できません。［無効］に設定してください。 ● ハブ（HUB）やルータなどと、本製品の通信モード（Link Speed）が合っていますか？ ハブやルータなどと本製品の通信モードの組み合わせが適切か確認してください。 ☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）

※ 以上を確認しても接続できないときは、ネットワーク設定を初期設定に戻してみてください。
☞39 ページ「ネットワーク設定の初期化」

症状・トラブル状態	確認・対処方法
ソフトウェアのインストール時に「見つけることができませんでした。」と表示される	● 無線 LAN 接続のときは、パソコンとアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ インターネット閲覧やメールなどの機能が正常に動作するか確認して、パソコンとアクセスポイントがネットワーク接続できていることを確認してください。 ● アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB)、ケーブルなどが正常か確認してください。 まずアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）やハブ（HUB）を見て、本製品を接続しているポートのリンクランプが点灯・点滅しているか確認してください。 リンクランプが消灯しているときは、次のことを確認してください。 • 他のポートに接続して、リンクランプが点灯・点滅するかどうか • 使用しているケーブルが断線していないかどうか • 無線に関する設定が、接続したいアクセスポイント（ブロードバンドルータなど）に合っているか ● 無線 LAN 接続のときは、本製品とアクセスポイントが、ネットワーク接続できていますか？ 本製品の操作パネルで本製品とアクセスポイントが接続されていることを確認してください。 ☞23 ページ「ネットワーク設定の確認」 ● 有線 LAN 接続のときは、ハブ（HUB）またはルータなどの LAN ポートにパソコン、本製品が接続されていますか？ 各機器が LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。 ● 本製品の電源は入っていますか？ 本製品の電源をオンにしてください。 ● アクセスポイント、ハブ、ルータの電源は入っていますか？ アクセスポイント、ハブ、ルータの電源が入っていることを確認してください。 ● IP アドレスは正しく設定されていますか？ 本製品の IP アドレスを［手動設定］にしているときは、IP アドレスが正しく設定されていないとパソコンと接続することができません。IP アドレスを正しく設定してください。 ☞44 ページ「ネットワークの基礎知識」 ☞14 ページ「TCP/IP の手動設定」 ● ［Windows セキュリティの重要な警告］画面や市販のセキュリティソフトが表示した画面で、［ブロックする］や［遮断する］を選択していませんか？ ［ブロックする］や［遮断する］を選択すると、通信ができなくなります。通信を可能にするには Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトで、例外アプリケーションソフトとして本製品のソフトウェアを登録してください。登録方法は以下をご覧ください。 ☞『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」 市販のセキュリティソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは市販のセキュリティソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアを使用してみてください。

その他のトラブル

本書ではネットワーク接続時のトラブルのみを説明しています。
その他のトラブルは、以下のマニュアルをご覧ください。

コピー・写真印刷・ファクスなどの機能を使用するときのトラブル

操作ガイド **「困ったときは（トラブル対処方法）」**	本製品を単体で使用するとき、およびパソコンと USB 接続して使用するときに起こりやすいトラブルの対処方法を説明しています。

パソコンと接続して使用するときのトラブル

パソコンでの印刷・スキャンガイド（電子マニュアル） • **「トラブル解決」** • **「ネットワーク設定補足ガイド」－「トラブル解決」**	「トラブル解決」では、印刷またはスキャン時のトラブル対処方法を説明しています。 「ネットワーク設定補足ガイド」の「トラブル解決」では、プリンタをネットワークに接続するときのトラブル対処方法を説明しています。

付録

付属のソフトウェアとインストール条件

ソフトウェアについて

本製品に付属のソフトウェアは以下の通りです。付属のソフトウェアの操作方法は各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

○ プリンタドライバ 画像や文書を印刷するためのソフトウェアです。 ○ スキャナドライバ EPSON Scan（エプソン スキャン） 画像や文書をスキャンするためのソフトウェアです。	○ E-Photo（イーフォト） さまざまな用紙に写真を簡単にプリントできるソフトウェアです。 ○ EPSON Web-To-Page（エプソン ウェブ トゥ ページ） Web ページを用紙の幅に収まるように印刷するソフトウェアです。Windows 用だけです。 ○ 読ん de!! ココ パーソナル スキャンした文書の文字データをテキストデータに変換するソフトウェアです。 ○ Epson Event Manager 操作パネルのスキャン機能を実行したときの処理方法を設定するソフトウェアです。

ソフトウェアのインストール条件

本製品にソフトウェアをインストールする際に必要なシステム条件は以下の通りです。

	Windows	Macintosh
インストール条件	Windows 2000・Windows XP・Windows Vista ※Windows XP では、Windows Internet Explorer 7.x にバージョンアップした場合、EPSON Web-To-Page(エプソン ウェブ トゥ ページ)はインストールされますが使用できません。	Mac OS X v10.3.9 以降 ※ファストユーザスイッチ機能（複数のユーザーが同時に 1 台のパソコンにログオンできる機能）には対応しておりません。
インストール時のアカウントについて	「コンピュータの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。	
ソフトウェアのバージョンについて	インストール中に、古いバージョンのソフトウェアがインストールされている旨のメッセージが表示されたときは、画面の指示に従ってソフトウェア CD-ROM に収録されている新しいバージョンのソフトウェアをインストールしてください。古いバージョンでは、一部の機能が正常に動作しないことがあります。	

ソフトウェアのインストール方法については以下のページをご覧ください。
24 ページ「ソフトウェアのインストール」

オープンソースソフトウェアについて

本製品は当社が権利を有するソフトウェアのほかにオープンソースソフトウェアを利用しています。

本製品に利用されているオープンソースソフトウェアの一覧、およびそれらのソフトウェアのライセンス条件は、『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」をご覧ください。

ネットワーク設定の変更

ネットワーク設定の変更

本製品のネットワークに関する設定は、以下の方法で変更できます。

!重要

メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

1　［セットアップ］を選択します。

2　［ネットワーク設定］を選択します。

この後の手順は、以下のページをご覧ください。

☞ 13 ページ「ネットワークの基本設定」
☞ 16 ページ「ネットワーク無線 LAN の設定」

参考

ネットワークの設定は EpsonNet Config（エプソン ネット コンフィグ）でも変更できます。
EpsonNet Config は､エプソン製品のネットワーク設定をするためのユーティリティソフトで､付属のソフトウェア CD-ROM からインストールして使用します。
EpsonNet Config での設定方法は以下をご覧ください。

☞『パソコンでの印刷･スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」

以上で、操作は終了です。

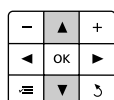
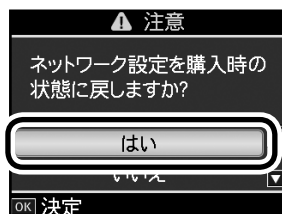
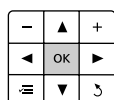
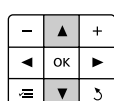
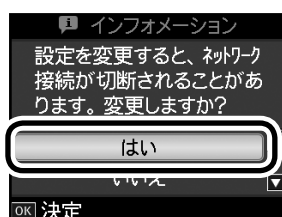
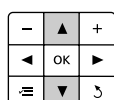
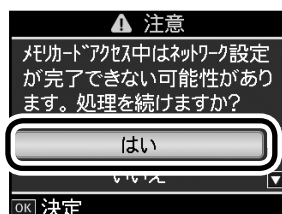
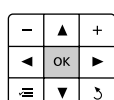
ネットワーク設定の初期化

ネットワーク設定を購入時の設定に戻すことができます。

1　［セットアップ］を選択します。

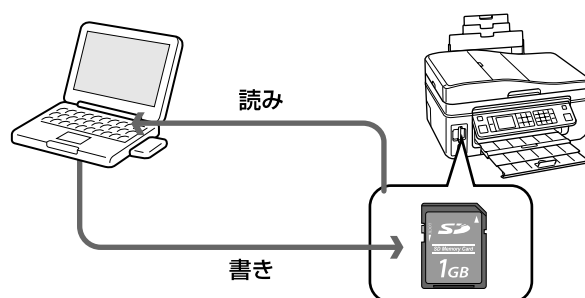
2　［初期設定に戻す］を選択します。

3　［ネットワーク設定］を選択します。

4 初期化を実行します。

以上で、操作は終了です。

ファイル共有の設定

ネットワーク上のパソコンから、メモリカードのファイルにアクセスできるように、ファイルの共有設定を変更できます。

!重要

メモリカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。

参考

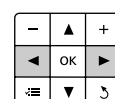
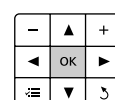
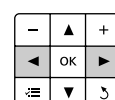
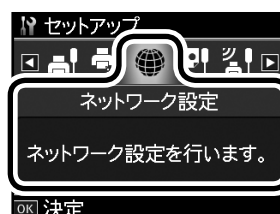
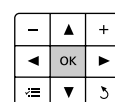
USB 接続で使用するときは、ファイル共有の設定を［無効］にしてください。

1 ［セットアップ］を選択します。

2 ［ネットワーク設定］を選択します。

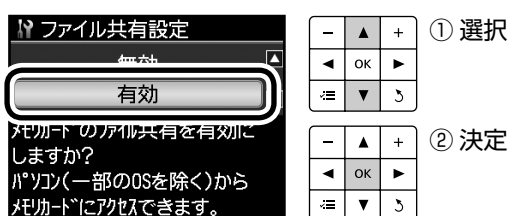
3 ［ファイル共有設定］を選択します。

① 選択

② 決定

4 ［無効］・［有効］を設定します。

ここでは［有効］を選択します。

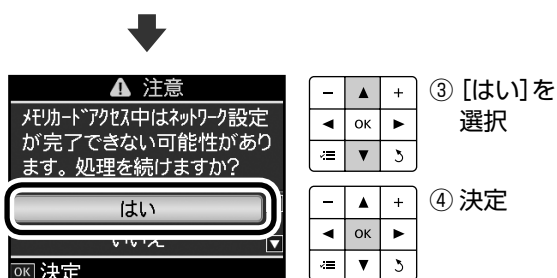
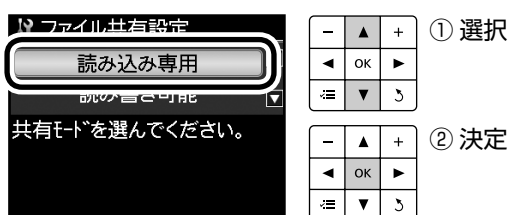
① 選択

② 決定

5 パソコンに許可する内容を選択します。

① 選択

② 決定

③［はい］を選択

④ 決定

以上で、操作は終了です。

ネットワーク仕様

技術的な仕様について記載しています。
ネットワーク以外の仕様については、『操作ガイド』をご覧ください。

無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.11b・IEEE 802.11g
無線規格	ARIB STD-T66、RCR STD-33
周波数範囲	2,400 ～ 2.497 GHz
チャネル	IEEE 802.11b：1 ～ 14ch IEEE 802.11g：1 ～ 13ch IEEE 802.11b/g：1 ～ 13ch
伝送方式	DS-SS、OFDM
通信速度	1、2、5.5、11Mbps モード（IEEE 802.11b） 6、9、12、18、24、36、48、54Mbps モード（IEEE 802.11g）
通信モード	インフラストラクチャ・アドホック
セキュリティ	WEP（64/128bit）、WPA-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES）*

*：WPA2 規格に準拠

!重要

通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.3
通信モード	10BASE-T・100BASE-TX 自動またはマニュアル選択
コネクタ形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

電波に関するご注意

機器認定について

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名　：WLU3072-D69（RoHS）
- 認証番号：005WWCA0037
  005GZCA0114

周波数について

本製品は、2.4GHz 帯の 2.400GHz から 2.497GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz 帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
3. 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

周波数のご注意が書かれたステッカーが同梱されています。本製品のどこか目立つところに貼り付けてください。

本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。
他メーカーの Wi-Fi 承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

本製品の使用時における セキュリティに関するご注意

お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です。
本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

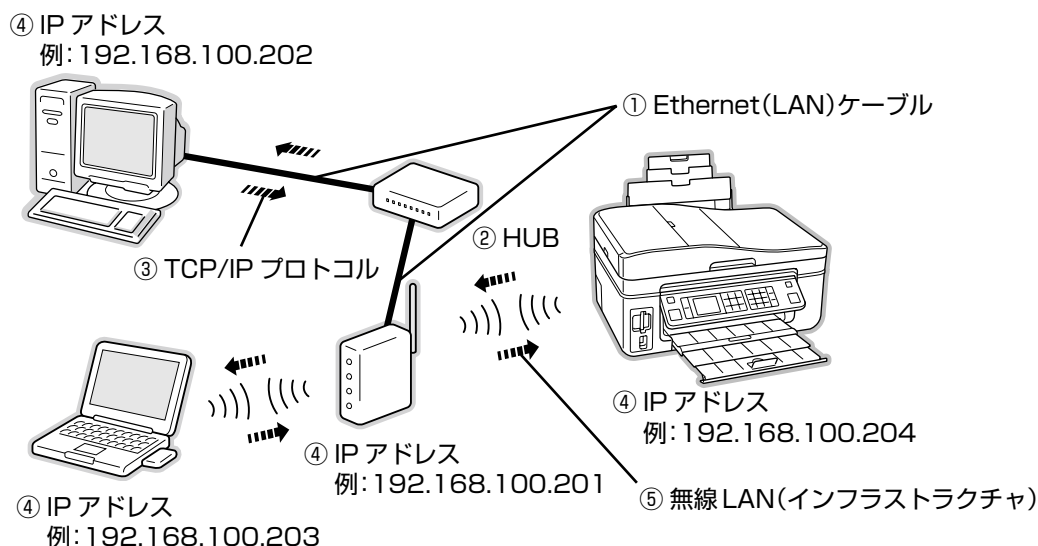
などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線 LAN 製品は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 製品のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

※ セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品のセキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします

ネットワークの基礎知識

用語の説明

プリンタのネットワーク共有に必要な用語について説明します。

① Ethernet（LAN）ケーブル

Ethernet とはネットワークの規格のことで、ケーブルの接続の規格には、10BASE と 100BASE があります。本製品は、10BASE-T（テンベースティー）、100BASE-TX（ヒャクベースティーエックス）に対応しています。

② ハブ（HUB）

LAN ケーブルを接続するための集線装置です。ネットワーク上のパソコンやプリンタはハブを介して接続します。ハブには、データの送り先を認識して送信するスイッチングハブと、すべてのポートに送信するリピータハブがあります。

③ TCP/IP（ティーシーピーアイピー）

ネットワークの通信にはさまざまな規約があり（これをプロトコルといいます）、TCP/IP はその中の 1 つです。インターネット上の通信で使用される、世界的な標準プロトコルです。
ネットワーク上のすべてのパソコンに組み込む必要があります。

④ IP アドレス（アイピーアドレス）

電話機 1 台につき 1 つの電話番号が必要であるように、パソコンをネットワーク上で使用するには、パソコン 1 台につき 1 つの識別子（アドレス）が必要です。この識別子のことを IP アドレスといい、電話番号と同様に数字の羅列（例：192.168.192.168）で表されます。ネットワーク上のすべてのパソコンやプリンタに IP アドレスを割り振る必要があります。
次ページで IP アドレスについて詳しく説明しています。

⑤無線 LAN（インフラストラクチャ）

インフラストラクチャとは、無線 LAN 通信のモードの 1 つで、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、ネットワークに接続する方法です。

IP アドレスは何番にする？

複数のパソコンで IP アドレスが重複すると、正常に通信できません。そのため、IP アドレスは世界的な機関で集中管理されています。外部接続（インターネットへの接続、電子メールの送受信など）する場合には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請して、正式に IP アドレスを取得する必要があります（通常はインターネットサービスプロバイダ（通称 ISP）がします）。
ただし、外部のネットワークに接続しない閉じた環境では、外部との接続を将来的にも一切しないという条件のもとに、次の範囲のプライベートアドレスを使用できます。

プライベートアドレス	10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
	172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
	192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

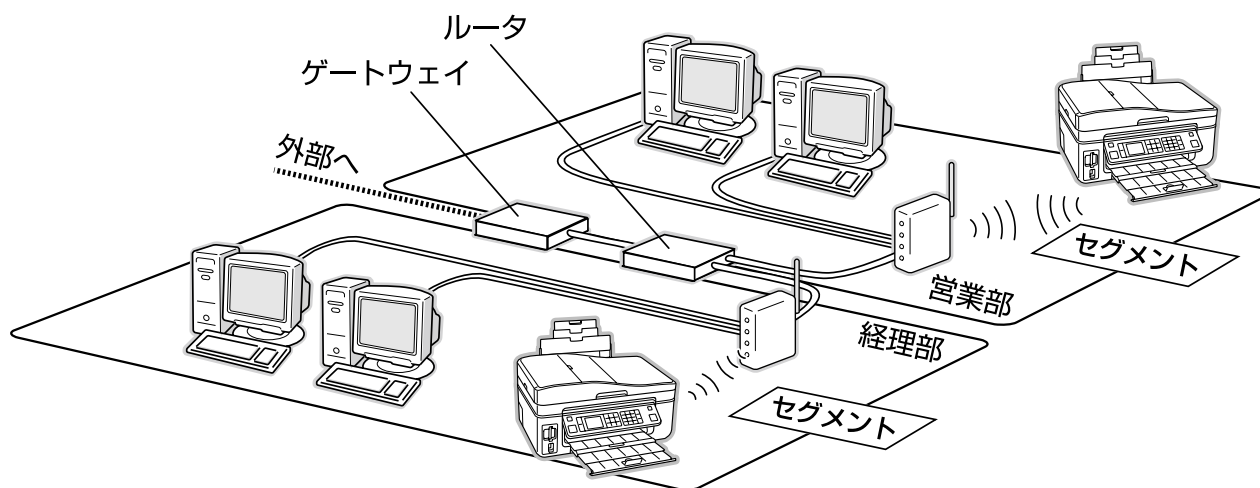
！重要

本製品の初期（お買い上げ時）の IP アドレスは［自動］に設定されています。

IP アドレスの割り振り方

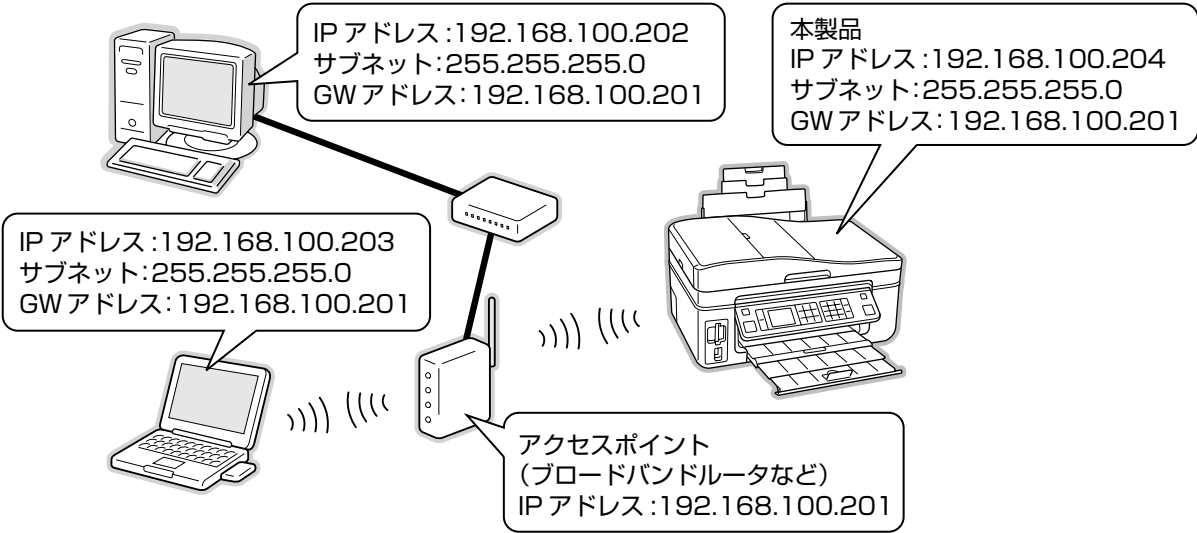
IP アドレスをネットワーク上のパソコンに割り振る前に、「サブネットマスク」というものを理解しなければなりません。電話番号に市外局番があるように、IP アドレスにもエリアを示す仕組みがあります。このエリアは、概念的には会社や部門などで分け、物理的にはゲートウェイまたはルータと呼ばれる中継器で分けます。

参考

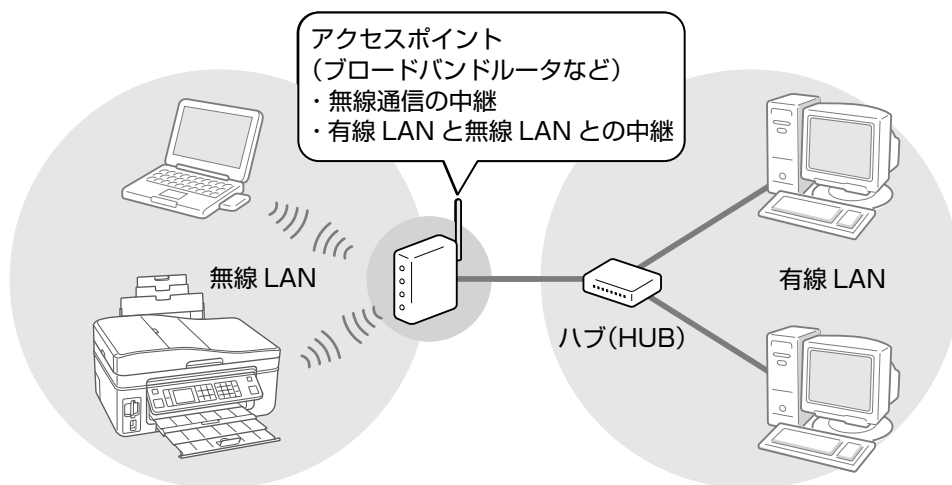
ゲートウェイ、ルータとは
同一プロトコルを使用した社内ネットワークで、部門間に設置する中継器をルータ、社内ネットワークと外部（インターネット）との間に設置する中継器をゲートウェイと考えてください。なお、ルータによって分けられるエリアをセグメントと呼びます。

エリアを示す仕組みに利用されるのが、サブネットマスクです。サブネットマスクは、IP アドレスと同様、数字の羅列（例：255.255.255.0）で表されます。
サブネットマスクは、IP アドレスに被せるマスクと考えてください。下表の例では、サブネットマスクの「255」にかかる部分がエリアのアドレス（これをネットワークアドレスといいます）、「0」にかかる部分がエリア内の各機器のアドレスになります。

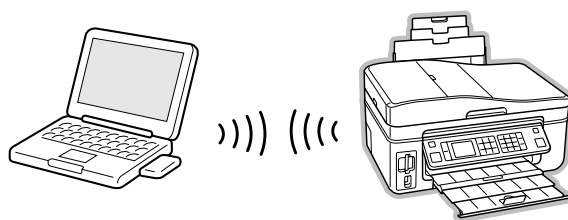
<例> IP アドレスが「192.168.100.200」の場合

IP アドレス	あるパソコンは、192.168.100.202、他のパソコンには 192.168.100.203、本製品には 192.168.100.204 のように、サブネットマスクの「0」にかかる部分の数値を 1 ～ 254 の間で設定してください。
サブネットマスク	通常は、255.255.255.0 であれば問題ありません。プリンタを利用するすべてのパソコンで同じ値にしてください。
ゲートウェイ（GW）	ゲートウェイになるサーバやルータのアドレスを設定します。ゲートウェイがない場合は、設定の必要はありません。

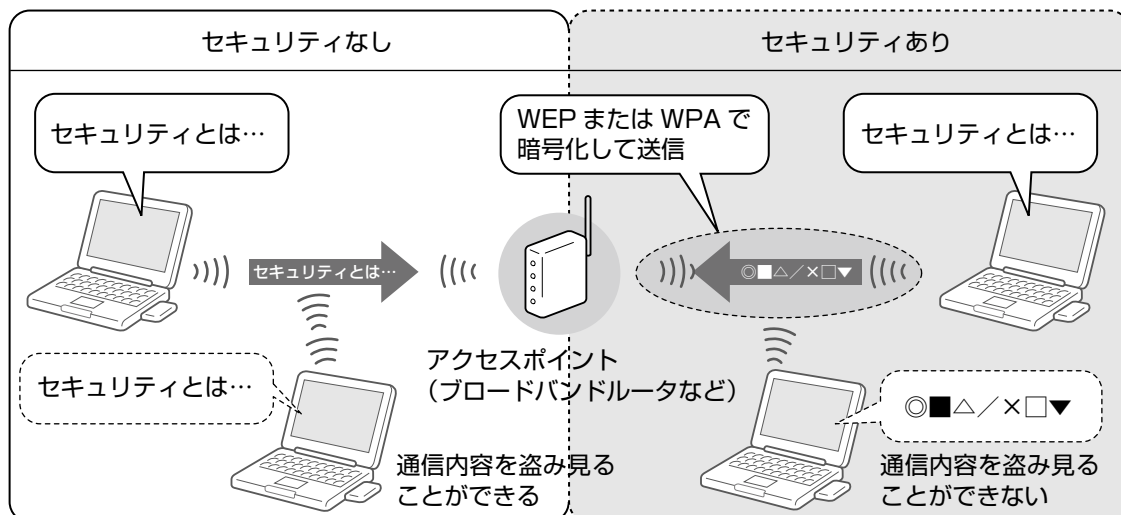
<例>

ネットワーク用語の説明

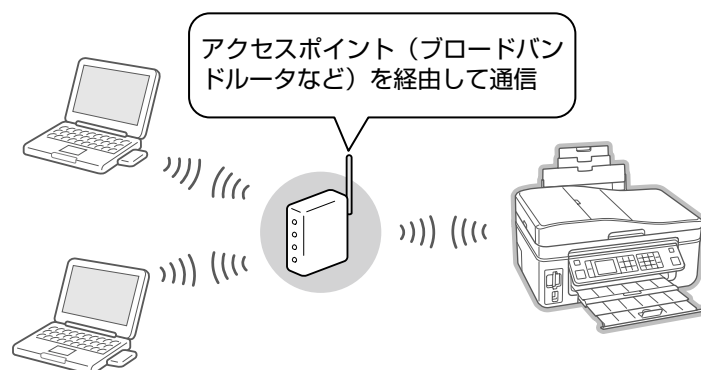
■ アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）

無線通信の橋渡しをする装置です。有線 LAN と無線 LAN の中継もします。

■ アドホックモード

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由せずに、デバイス同士が無線で直接通信する方式です。
アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を必要としない小規模な無線 LAN に適した通信方式です。
このアドホックモードに対して、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由する無線通信の方式を「インフラストラクチャモード」と呼びます。

本製品をアドホックモードで使用するときは、以下をご覧ください。
『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク設定補足ガイド」

■ 暗号化（セキュリティ）方式

一般的には「安全」や「防犯」を意味します。ネットワーク環境でのセキュリティとは、通信時に第三者が不正にデータを傍受したり改ざんしたりすることを防ぐための技術を指します。
無線 LAN での通信は第三者からの傍受が容易であるため、送信されるパケットを暗号化することで傍受者に内容を知られないようにします。暗号化技術には、WEP や WPA などの技術を利用します。

■ インフラストラクチャモード

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由して、デバイス同士が無線などで通信する方式です。数多くのデバイスが接続しているネットワークに適した通信方式です。
このインフラストラクチャモードに対して、アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）を経由しない無線通信の方式を「アドホックモード」と呼びます。

■ サブネットマスク

TCP/IP（ティーシーピーアイピー）ネットワーク内のグループを識別するため、ネットワーク内の住所にあたる IP アドレスの一部であるネットワークアドレスを用います。
サブネットマスクとは、このネットワークアドレスに何ビットを使用するかを定義するための数値です。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットの数値からなり、クラス C のネットワークでは 24 ビット（255.255.255.0）が標準で使用されています。

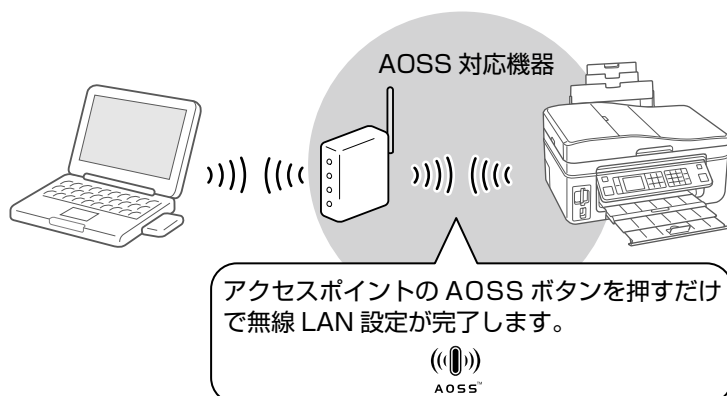
■ デフォルトゲートウェイ

所属するネットワークの外にあるデバイスと通信する際に、ネットワークの「出入り口」の役割を果たすルータなどの機器を指します。

■ ルータ

ネットワーク上でやり取りされるデータを、他のネットワークに経由するための装置です。データをどの経路を通して転送すべきかを判断する、経路選択（ルーティング）機能を持っています。

■ AOSS(エーオーエスエス)

株式会社バッファローが開発した、パソコンを使わずに無線 LAN 設定やセキュリティ設定が可能なシステムです。バッファロー製の AOSS モード対応アクセスポイントに接続する際に、アクセスポイントの AOSS ボタンを押すことで無線 LAN 設定を簡単にすることができます。

■ DHCP(ディーエイチシーピー)

デバイスの IP アドレスやデフォルトゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコルです。このプロトコルに対応したサーバを DHCP サーバと呼びます。DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンなどが起動したときに他で使用されていない IP アドレスを自動的に割り当てます。
DHCP を使うとネットワークの設定に詳しくないユーザーでも簡単にネットワークを利用できるとともに、ネットワーク管理者は多くのパソコンを一元管理することができます。

■ IP(アイピー)

TCP/IP における、ネットワーク層のプロトコルです。ネットワークに接続しているデバイスの識別番号（アドレス）割り当てや、ネットワーク内での通信経路の選択（ルーティング）をするための方法を定義しています。インターネットは、IP によって相互の接続と通信を可能としています。

■ IP アドレス(アイピーアドレス)

IP のネットワークに接続しているデバイス 1 台 1 台に割り振られる識別番号（アドレス）を指します。主に 8 ビットごとに 4 つに区切られた 32 ビットの数値が使われており、「192.168.100.200」などのように、0 から 255 までの 10 進数の数字を 4 つ並べて表現します。

インターネット上での IP アドレス重複を避けるため、各国の NIC（ニック）という機関が IP アドレス割り当てなどの管理をしています。

■ MAC アドレス(マックアドレス)

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

■ MAC アドレスフィルタリング(マックアドレスフィルタリング)

アクセスポイント（ブロードバンドルータなど）が、各 Ethernet カードに固有の ID 番号である MAC アドレスを識別することで通信を制限するセキュリティ技術です。あらかじめ登録されている MAC（マック）アドレスを持つデバイスのみ通信を許可します。

■ SSID(エスエスアイディー)

無線通信時の混信を避けるために付けられる識別子（ネットワーク名）です。ESSID と呼ぶ場合もあります。IEEE 802.11 シリーズの無線 LAN におけるネットワークで使用され、最大 32 文字までの英数字を用いて任意に設定します。SSID は十分なセキュリティを備えていないため、別途 WEP（ウェップ）キーなどを設定する必要があります。

■ TCP/IP(ティーシーピーアイピー)

インターネットなどのネットワーク通信で広く使われているプロトコルです。

■ WCN(ダブリューシーエヌ)

Windows Connect Now。Windows XP Service Pack2（SP2）・Windows Vista の機能で、USB フラッシュメモリを使って無線 LAN の接続やセキュリティを自動設定できます。

■ WEP キー(ウェップキー)

無線通信における暗号化技術の 1 つです。決められた WEP キーを共有する者同士のみが無線通信することができます。本製品では 64bit と 128bit の 2 種類の WEP キーをサポートしています。

	ASCII	16 進数
WEP-64bit（40bit）	5 文字	10 桁
WEP-128bit（104bit）	13 文字	26 桁

ASCII 文字を選択した場合は半角英数字記号（大文字と小文字は別の文字として扱われます）、16 進数を選択した場合は 0 〜 9 の数字および a 〜 f のアルファベットで入力します。

■ WPA(ダブリューピーエー)

無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN の暗号化方式の規格です。

今まで採用されてきた WEP（ウェップ）の弱点を補強し、セキュリティ性を向上させています。

本製品では WPA-PSK（TKIP/AES）をサポートしており、パスワードで入力できる文字は、8 〜 63 文字の半角英数記号となります。（パスワードでは、大文字と小文字は別の文字として扱われます。）

■ WPS(ダブリューピーエス)

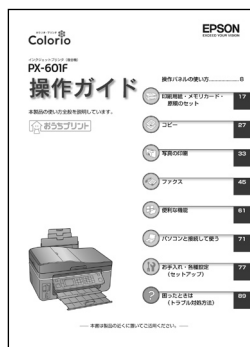
無線 LAN の業界団体 Wi-Fi Alliance が発表した、無線 LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。

本製品では、プッシュボタン方式と PIN コード方式の 2 種類の設定方式に対応しています。

本製品のマニュアルについて

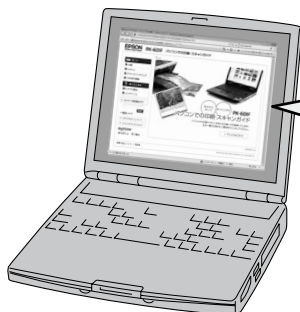
準備が完了したら、以下のマニュアルをご覧ください。

本製品のみで使用するときは 『操作ガイド』

本製品の使い方全般を説明しています。

<主な記載内容>

- コピー
- 写真の印刷
- ファクス
- お手入れ・各種設定
- 困ったときは（トラブル対処方法）

パソコンとつないで使用するときは 『パソコンでの印刷・スキャンガイド』（電子マニュアル）

パソコンと接続したときの使い方を説明しています。ソフトウェア CD-ROM に収録されていて、ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。

USB 接続でパソコンを使って印刷・スキャンするときの詳しい使い方を説明しています。

パソコンをネットワーク（有線 LAN・無線 LAN）で接続したときのトラブル解決方法や、ネットワークカスタム設定の方法は、「ネットワーク設定補足ガイド」で説明しています。

PX-601F 準備ガイド

EPSON